

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド 証券ファンド（為替ヘッジあり） 2016-09

<3627>

単位型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）

第7期 2020年3月16日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

| | | |
|------|-------|----------|
| 第7期末 | 基準価額 | 10,164円 |
| | 純資産総額 | 1,839百万円 |
| 第7期 | 騰落率 | △1.2% |
| | 分配金 | 40円 |

(注) 騰落率は分配金(税込み)を含めて計算したものです。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00~17:00(営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇ TKU0362720200316 ◇

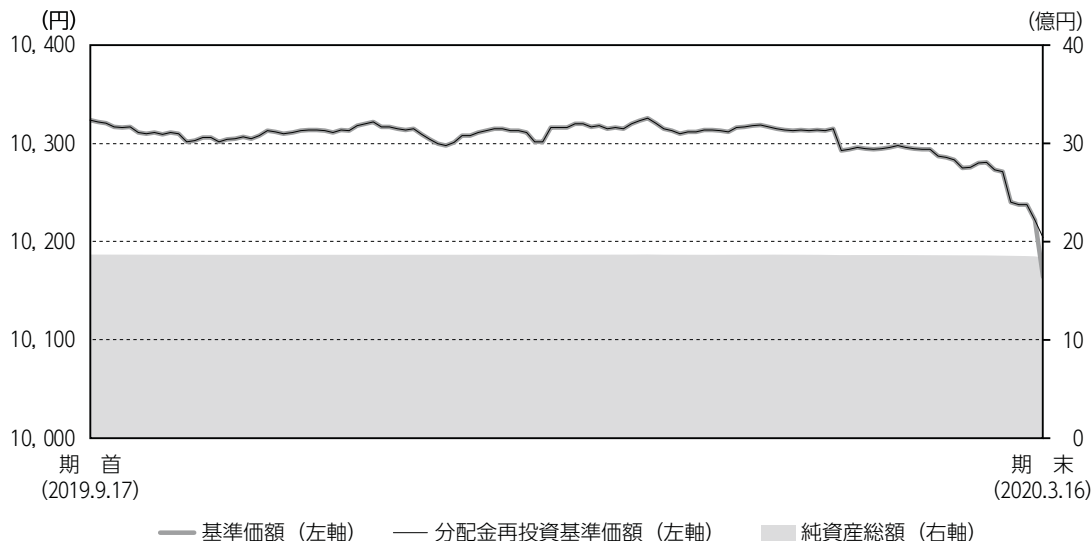
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：10,324円

期末：10,164円（分配金40円）

騰落率：△1.2%（分配金込み）

基準価額の変動要因

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>」の受益証券を通じて、主として世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行った結果、保有債券からの利息収入はプラスに寄与したものの、金利の上昇（債券価格の下落）などを反映し、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1 万口当りの費用の明細

| 項 目 | 当 期 (2019. 9. 18~2020. 3. 16) | | 項 目 の 概 要 |
|-----------|----------------------------------|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| 信 託 報 酬 | 39円 | 0.380% | 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,304円です。 |
| （投信会社） | (27) | (0.266) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価 |
| （販売会社） | (10) | (0.095) | 販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （受託銀行） | (2) | (0.019) | 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| 売買委託手数料 | — | — | 売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| 有価証券取引税 | — | — | 有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| そ の 他 費 用 | 1 | 0.011 | その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数 |
| （保管費用） | (1) | (0.007) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （監査費用） | (0) | (0.004) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （その他） | (0) | (0.000) | 信託事務の処理等に関するその他の費用 |
| 合 計 | 40 | 0.391 | |

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

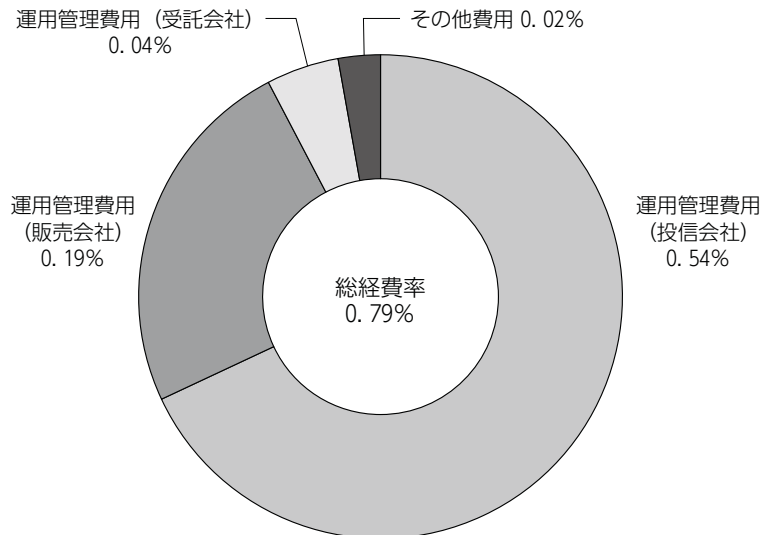
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.79%です。

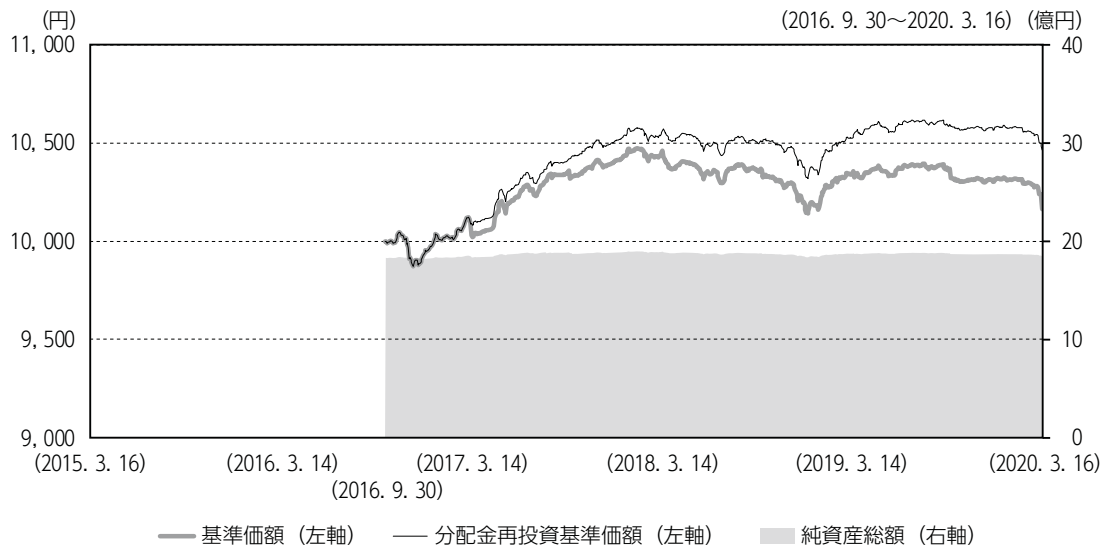


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近 5 年間の基準価額等の推移について



| | 2016年9月30日 設定 | 2017年3月14日 決算日 | 2018年3月14日 決算日 | 2019年3月14日 決算日 | 2020年3月16日 決算日 |
|--------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 10,000 | 10,030 | 10,428 | 10,326 | 10,164 |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | — | 60 | 80 | 80 | 80 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 (%) | — | 0.9 | 4.8 | △0.2 | △0.8 |
| 純資産総額 (百万円) | 1,829 | 1,835 | 1,887 | 1,868 | 1,839 |

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

投資環境について

(2019. 9. 18 ~ 2020. 3. 16)

■ 海外債券市況

海外債券市況では、ドイツや英国の国債金利は低下しました。

当作成期首より、米中通商交渉や英国のEU（欧州連合）離脱交渉の進展期待が高まる中で、国債金利は上昇傾向となりました。2020年に入ってから、新型コロナウイルスの感染拡大懸念が高まったことなどから、国債金利の低下圧力は強まりました。

コーポレート・ハイブリッド証券は、新型コロナウイルスの感染拡大懸念が高まり、投資家心理が悪化したことを背景に、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大し、多くの銘柄の金利は上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>」の受益証券を高位に組み入れます。

■ ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。業種別では公益セクターを軸に、当ファンドの信託期間内にコール（繰上償還）等が見込まれる銘柄の組み入れを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 9. 18 ~ 2020. 3. 16)

■当ファンド

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>」の受益証券を高位に組み入れました。

■ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。業種構成は、業績の安定性や債券の流動性などを勘案し、主な発行業種である公益セクターを軸とし、当ファンドの信託期間内にコール（繰上償還）等が見込まれる銘柄の組み入れを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は40円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額36,841,287円が、経費控除後の配当等収益28,997,270円を超過しているため、純資産額の元本超過額36,841,287円（1万口当り203.54円）を分配対象額として、うち7,240,000円（1万口当り40円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>」の受益証券を高位に組み入れます。

■ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。業種別では公益セクターを軸に、当ファンドの信託期間内にコール（繰上償還）等が見込まれる銘柄の組み入れを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。



お知らせ

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。



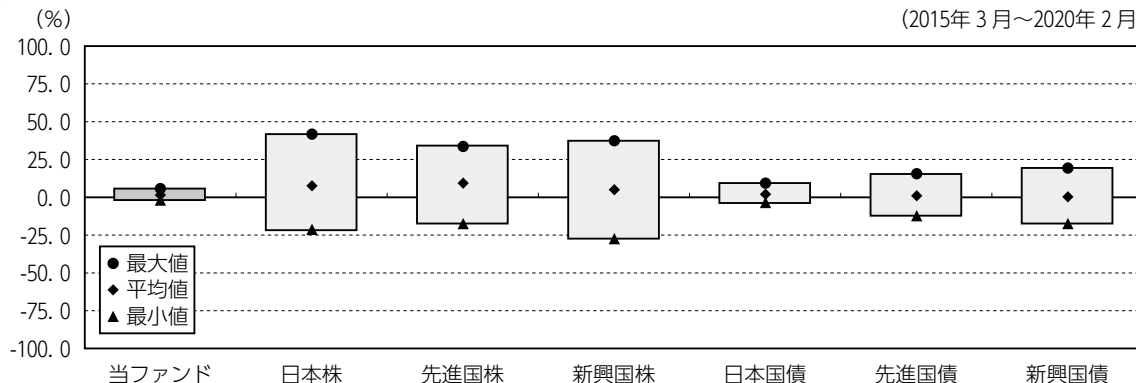
当ファンドの概要

| | | |
|--------------|--|---|
| 商品分類 | 単体型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券） | |
| 信託期間 | 約4年3カ月間（2016年9月30日～2020年12月21日） | |
| 運用方針 | 信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 | |
| 主要投資対象 | ベビーファンド | ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>の受益証券 |
| | ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>> | イ. 世界の企業（金融機関を除きます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券） ロ. 世界の企業（金融機関を除きます。）が発行する普通社債 ハ. 先進国の国債 |
| マザーファンドの運用方法 | <p>①主として、世界の企業（金融機関を除きます。）が発行するハイブリッド証券等に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②ハイブリッド証券等の運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p>イ. 信託期間終了日までに満期償還される銘柄および繰上償還や買入消却等が見込まれる銘柄に投資します。</p> <p>ロ. 投資対象とする銘柄は、取得時において投資適格（ムーディーズでBaa3以上またはS&PもしくはフィッチでBBB-以上。以下同じ。）の格付けを有する銘柄とします。ただし、市場環境等によっては、取得時において投資適格の格付けを有する発行体が発行する銘柄に投資することがあります。</p> <p>ハ. 各国のマクロ環境の調査、個別発行体の財務分析、個別銘柄の繰上償還の実現性や利払いの確実性などのファンダメンタルズ分析等を行なうとともに、相対的な割安度合い等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>ニ. ハイブリッド証券への投資が困難と判断する場合などには、普通社債または先進国の国債に投資することがあります。</p> <p>③為替変動リスクを低減するため、外貨建資産については為替ヘッジを行ないません。</p> | |
| 分配方針 | 分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 | |



代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2015年3月～2020年2月)



上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.



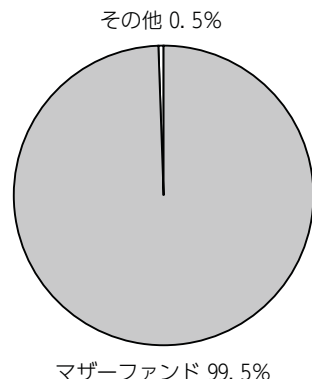
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

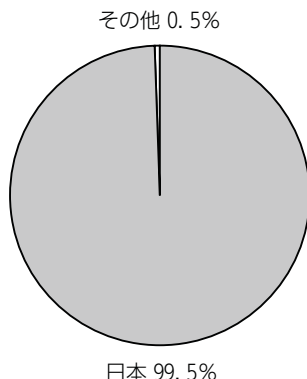
組入ファンド等

| | 比 率 |
|---|-------|
| ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>> | 99.5% |
| その他 | 0.5 |

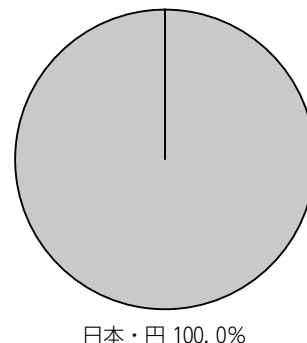
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2020年3月16日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

| 項 目 | 当期末 |
|-----------|----------------|
| | 2020年3月16日 |
| 純資産総額 | 1,839,601,287円 |
| 受益権総口数 | 1,810,000,000口 |
| 1万口当り基準価額 | 10,164円 |

* 当期中における解約元本額は0円です。

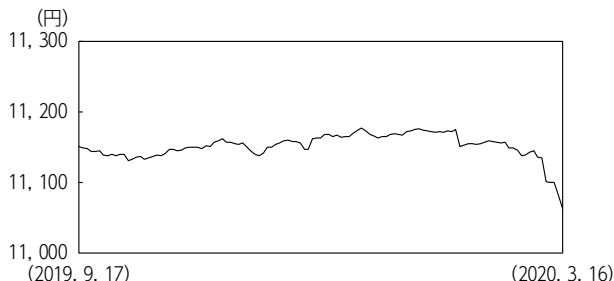
* 組入全銘柄に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020-12≫

（作成対象期間 2019年9月18日～2020年3月16日）

■基準価額の推移



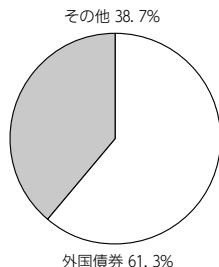
■1万口当りの費用の明細

| 項目 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 売買委託手数料 | —円 |
| 有価証券取引税 | — |
| その他費用 (保管費用) | 1 (1) |
| (その他) | (0) |
| 合計 | 1 |

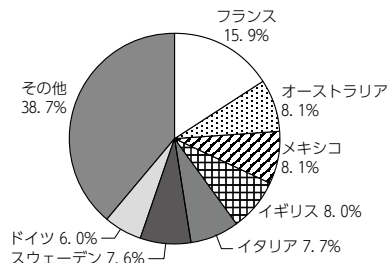
■組入上位銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|---|----------|------|
| Suez Environnement Co 3.0% 永久債 | ユーロ | 8.7% |
| BHP Billiton Finance USA Ltd 6.25% 2075/10/19 | アメリカ・ドル | 8.1 |
| AMERICA MOVIL SA de CV 6.375% 2073/9/6 | イギリス・ポンド | 8.1 |
| SSE PLC 3.875% 永久債 | イギリス・ポンド | 8.0 |
| Enel SpA 7.75% 2075/9/10 | イギリス・ポンド | 7.7 |
| Volvo Treasury AB 4.2% 2075/6/10 | ユーロ | 7.6 |
| Arkema SA 4.75% 永久債 | ユーロ | 7.2 |
| RWE AG 2.75% 2075/4/21 | ユーロ | 6.0 |
| 組入銘柄数 | | 8銘柄 |

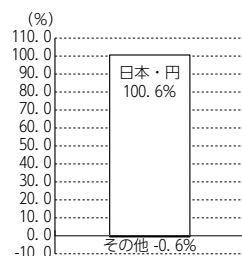
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のもです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。